

## 都議会レポート

発行 都議会民主政策調査会  
所在地 〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1  
Tel 03-5320-7230 Fax 03-5388-1784

東京都議会議員  
さとう由美

一人ひとりの  
声をカタチに



## 平成21年第3回定例会・都政報告特集号

### 都議会議員選挙後、初の定例会開催

都議選後、初の定例会となる第3回都議会定例会が、9月25日に終了しました。

都議会民主党（以下「民主党」）は、重要課題である新銀行東京や築地市場、救急医療などの問題について、「都民の生活が第一」との視点から、本会議で積極的に政策提案を行うとともに、新銀行及び築地市場の特別委員会の設置を求めてきました。

都議会第一会派であるという自覚と責任のもと、都民の皆様の声をいただきながら、引き続き都政改革に全力で取り組んでいく決意です。

### 新銀行、築地市場問題で特別委員会を設置！

#### 新銀行の責任究明へ



民主党は「都議選の結果は、新銀行への都民の怒りや疑問が大きく影響した」として、1000億円近くを毀損した根本的な責任を問うために第三者機関の設置を求めました。

これに対して石原知事は「都議選結果は国政の動向が強く反映した。新銀行をはじめ都政についての審判とは考えていない」とするとともに「第三者機関を設ける必要は全くない」と断言しました。

一方で、民主党は、新銀行及び築地市場問題についての特別委員会の設置を要求し続け、自民党の執拗な抵抗にあいながらも、何とか設置にこぎ着けました。民主党は、参考人招致などを実現し、問題点を明らかにするとともに、都民の視点に立って、これら問題を解決していきたいと考えています。

#### 築地市場の再整備問題

石原知事は、都議選後の定例会見で、築地市場の現在地再生備について「必要ならもう一回専門家を入れて検討したらいい」と発言。こうした発言などを踏まえ、民主党は、代表質問において「早急に検討委員会を設置すべきだ」と迫りました。しかし、石原知事は「現在地再整備の実現は困難」「具体的な代案があれば早急に示してもらいたい」と民主党の要求をはねました。

民主党は、市場関係者などが現在検討している代案などをもとに、現在地再整備を再検討すべきだと考えています。

併せて、代表質問では「シンポジウムや公開討論会など、都民の声を幅広く聴く場を設けるべきだ」と主張しましたが、都の姿勢は極めて消極的です。



## 緊急雇用対策をさらに積み増し 中小企業の負担軽減を

## 産業・雇用

7月の完全失業率は5.7%まで上昇し、1953年に統計を開始して以来、過去最悪を記録しました。民主党は、昨年10月に都が打ち出した公的雇用50万人の創出だけでは不十分として、緊急雇用対策のさらなる積み増しなど、追加的対策を求めるとともに、離職者の再就職を支援していくために職業訓練の拡大・充実を併せて求めました。

また、中小企業対策では、制度融資の拡大・充実をはじめ、信用保証料補助の拡大などによる中小企業の負担軽減を求めるとともに、下請けイジメをなくすためにADR（裁判外紛争解決手続き）の普及や下請け取り引きのさらなる適正化を求めました。

## 進まない木造住宅の耐震化 耐震化促進制度の充実・強化を

## 防災



都の木造住宅の耐震化助成は、木造住宅密集地域のうち、特に危険度の高い「整備地域」に選定された地域の木造住宅が対象です。しかし、地域危険度測定データでの建物倒壊度や火災危険度が高いにも関わらず、整備地域から漏れている地域があります。

そのため民主党は、助成対象を建物倒壊度の高い全ての地域に拡大することを改めて求めました。

そのため民主党は、助成対象を建物倒壊度の高い全ての地域に拡大することを改めて求めました。

また、都独自の補助制度による耐震診断の無料化や耐震改修にかかる費用の自己負担の引き下げも提案しました。

## 河川/下水道、雨水浸透ますで ゲリラ豪雨対策推進を

今夏は都内で大きな都市型水害は発生しませんでした。水害への備えは極めて重要です。豪雨対策で最も有効なのは河川整備と下水道整備ですが、どちらも長い時間と大きな投資が必要です。

民主党は、予算と執行体制に限られる中であっても現計画の100%達成に向けた努力を都に求め、都も前向きな答弁をしています。

また、雨水浸透ますを住宅や道路に設置することも効果的であるため、区市の取組みに対する支援の強化を求めました。

## CO2 25%削減へ向け 太陽エネルギーの利用拡大を

## 環境

9月22日、国連気候変動サミットで、鳩山首相は、2020年までにCO2を90年比で25%削減すると宣言しました。

民主党は、太陽エネルギーの利用拡大でスギの木300万本分のCO2削減を打ち出していますが、太陽エネルギー利用機器の導入実績は、この5か月間でわずか2201件と、都の計画の年間2万件には及びそうにありません。民主党が、より一層の工夫を求めたのに対して、都は「販売ルートが多様化など積極的に普及拡大を図る」と答弁しています。

## 「天下り」情報の更なる公開で 信頼される都政を

## 行政改革

都における昨年の幹部職員の退職状況は、再就職者が161名で、情報提供、あっせんが行われた者は131名に上ります。

全国では24府県が、幹部職員の再就職の公正性や透明性を確保するため、部課長級以上の職員の天下り、再就職情報を公表していますが、都の公表はまだまだ限定されたものとなっています。

民主党は、民間企業や報告団体などに再就職した部課長級の氏名の公表など、幹部職員の情報を更に公表し、再就職の公正性や透明性をより高めるとともに、より開かれた都政を目指すべきだと主張しました。

都は「再就職情報に関して、相手先への配慮をしながらも、一層の透明性の向上に取り組む」と前向きに答弁しており、今後の都の取り組みが期待されます。

## 薬物乱用が社会問題化 薬物乱用防止教育の全校実施を

青少年育成・治安

覚せい剤、大麻、MDMA等の違法薬物乱用が大きな社会的問題となっています。

薬物乱用は、乱用者の命までもを奪い、その家族や周囲の方々の人生をも壊しかねません。民主党は、法規制の強化に向けた国への提案要求をはじめ、違法薬物の一掃に向けた取り締まり強化や薬物乱用防止教育の全校実施を求めました。

石原知事は、青少年を対象として徹底した啓発活動、インターネット取引への対策を強化すると表明。また、教育長は、薬物乱用防止教育の内容深化、専門機関と連携した教員研修、全ての公立学校で、薬物乱用防止教育を必ず年一回実施するよう指導すると答弁しました。

## 救急搬送時間の短縮を

医療

民主党は、全国の都道府県で最悪の救急搬送時間を30分を目標に短縮すべきだと訴えています。

そのために必要な体制整備として、救急搬送先選定のツールである診療情報システムの更新、医療機関のネットワークの増強、医療改革都民会議の設置で都民とともに医療体制構築を考えるべきであると主張しました。

都は「地域救急会議を設置し、課題解決に向け話し合う」としましたが、都民参加は既に実施していると述べるに止まりました。

## 新型インフル大流行に備え 入院医療体制の確保急務！

医療

腎臓病などの疾病がある方、免疫が低下し重症化しやすい方が感染し、亡くなるケースが出ています。重症者の治療に必要な医療機器や入院ベッドも不足することが懸念されています。

そこで民主党は、医薬品や防護服など必要な資材の確保に加え、秋冬の大流行に備えて、入院医療体制の確保が急務と訴えました。

都は、独自の補助制度創設で入院病床の整備や人工呼吸器等の医療資器材の整備を支援。さらにICUの稼働実績や人工呼吸器の保有状況の把握など、入院医療体制確保に努めると答弁しています。

# さとう由美は、厚生委員会に決定！

医療制度再生、よりきめ細かな福祉に向けて、全力で取り組みます。

### 厚生委員会付託案件について

#### 条例改正

##### [東京都女性福祉資金貸付条例]

母子福祉資金における利率や保証人について、条件緩和改正したことを受けて条例改正 対象拡大のため、賛成。

#### 契約案件

##### [インフルエンザ対策にかかる契約案件]

基本計画の執行。タミフルやリレンザの備蓄、重症患者入院対応のため臨時ベッドの購入 入札経過、保管状況、柔軟な活用を確認の上、賛成。

##### [東京都健康安全研究センター新館B棟新築その他回収工事にかかる契約案件]

感染症ウイルス等研究施設。強毒型ウイルス研究を安全に行うための新築また改修でありその必要性から、賛成。

#### 報告案件

##### [婦人保護施設・障害者施設の民間移譲にかかる報告案件]

計画の執行 提供されるサービスの質を確保されるために十分な予算・人的配置を求める意見を付しました。(左側写真)



# “ さとう由美 ” 活動報告



公共政策  
シンポジウム



2009年

- |                                |                                      |
|--------------------------------|--------------------------------------|
| 9/2 各種団体予算ヒヤリング(～9/9)<br>都政勉強会 | 9/14 第3回定例会代表質問                      |
| 9/4 第3回定例会厚生委員会付託予定議案説明        | 9/15 第3回定例会一般質問                      |
| 9/7 第3回定例会本会議<br>婦人保護施設視察      | 9/16 第3回定例会厚生委員会(～17)                |
| 9/8 政策懇談会                      | 9/17 法テラス池袋訪問                        |
| 9/10 社会福祉法人仁生社合同慰霊<br>都政勉強会    | 9/24 都立大塚病院 児童精神科・新生児科視察             |
| 9/12 政策分析ネットワーク 公共政策シンポジウム     | 9/25 第3回定例会本会議 閉会                    |
|                                | 9/28 都政意見交換(医療・保育)                   |
|                                | 9/29 都政ヒヤリング(救急体制)<br>東京消防庁司令室(救急)視察 |



東京消防庁司令室(救急)

さとゆみ日記(skyrainbowブログ)スタート!  
～日々の活動を、1行日記で報告～



## 佐藤由美プロフィール

昭和47年東京生まれ。37歳。O型やぎ座。都立戸山高、京都大学法学部卒。  
財団法人法律扶助協会入局、弱者の法律問題解決を支援する日本司法支援センター(法テラス)で犯罪被害者支援、民事法律扶助業務に取り組み10年。  
平成21年都議会議員初当選。国民の生活を守る法律の原点に立って、活動を進める。  
夫、小学生の息子と3人家族。  
(趣味)読書、スポーツ、旅行、バイク、陶器、庭園



- 常任委員会 厚生委員会  
 審議会等 財団法人東京都保健医療公社評議委員 / 東京都平和の日記念式典実行委員  
 党内部会・PT・調査会  
 医療再生PT・築地市場再整備PT・新銀行東京PT  
 島嶼振興等調査会・交通政策調査会・都市政策調査会・日台友好議員連盟  
 東京都議会議員連盟  
 東京都芸術文化振興議員連盟 / 東京都男女共同参画社会推進議員連盟  
 東京都議会日豪友好議員連盟 / 東京都議会日韓友好議員連盟  
 地方税財政制度の改善を目指す東京都議会議員連盟  
 防災都市づくり推進東京都議会議員連盟 / 京浜港広域連携議員連盟  
 リニア中央エクスプレス建設促進東京都議会議員連盟

連絡先 **さと由美**

事務所

〒124-0025 葛飾区西新小岩1-6-3  
Tel 03-5671-2477 Fax 03-5671-5478  
E-mail info@satoyumi.jp  
URL http://www.satoyumi.jp

是非お気軽にご意見をお寄せください。送信先 fax 03-5671-5478

住所	Tel
氏名	Fax
通信欄	e-mail